

市民福祉の向上を

草加市議会議長 瀬戸健一郎



明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春を迎えられたことと天慶に存じます。また、旧年中は、議会活動への深いご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

西暦2000年、新しいミレニアムが幕を閉じたわけではありますが、地方主権の確立、本格的な少子・高齢化への対応、地球環境保全を意図した新しい社会・経済システムの構築など、百年、千年を単位とした発想が、これからの問題解決には求められています。

そうした中で、地方自治体は、4月か

ら始まる介護保険制度の充実、引き続き景気の低迷に対応しながら、市民生活に直結した行政運営を図り、市民福祉の向上を実現しなければなりません。

草加市議会といたしましては、市政の唯一の議決機関としての役割を発揮し、新市立病院建設、介護保険や保育ブーシヨン等の少子・高齢化対策などの当面する重要課題を解決し、市政のアカウンタビリティ（説明責任）と分かりやすい議会運営に務めてまいります。

21世紀を目前に控え、私たち草加市議会は心を新たに市民の皆様への信託にこたえる所存であります。

どうか、本年も議会活動に相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。